育友会支部懇談会

全国68支部が64会場で開催

▲　専修大学の４人の創立者について講演する日高学長（東京会場で）

今年度で50回目を迎えた「育友会支部懇談会」が今年も7月から8月にかけて全国68支部64会場で開催された。日南川裕一会長＝写真＝が函館、札幌、東京（A・B・C合同）、神奈川（東・西合同）、長野、香川、愛媛、博多、熊本会場に、日高義博理事長・学長が東京（A・B・C合同）、広島（西・東合同）、山口会場に出席したほか、教職員約300人が各会場に出張し、講演、個人面談など、ご父母との情報交換を行った。

（インタビューの文末のカッコ内はご子女の学部学年・性別）

参加者の声

東京支部

篠原　智明さん　洋子さん

懇談会や個別面談を通し、教職員の方々が一貫した教育理念に立って、情熱を持って教育に取り組んでいることを感じました。娘からゼミ活動の話を聞き、先生方が親身に接してくださる良い環境だと思っていましたが、今回出席したことで、その温かさを実感しました。中でも印象に残っているのは学生の就職体験談と日高学長の講演です。特に講演では、「社会知性の開発」というビジョンに共感を抱くことができ、娘が専大に通うことができて良かった、と改めて思いました。（文4・女子）

▲　就職体験談を語る中川原太朗さん（商）

▲　広瀬裕子法学部教授（左）によるグループ面談

山形支部

金澤　瑞弘さん

こういった会を開いていただき、面倒見の良い大学だと感じています。就職活動のことをお聞きしたいと思っていましたが、一貫した支援システムを知ることができ、不安を解消できました。個別面談ではサポートの内容を具体的に説明していただき、「いつでも大学から支援を受けられる」という安心感を得ました。

また、「就職で問われるコミュニケーション能力とは、幅広い世代の方と交流することで養われます」など、懇談会での話もとても参考になりました。（経営3・男子）

▲　キャンパスライフを紹介するビデオを視聴する参加者

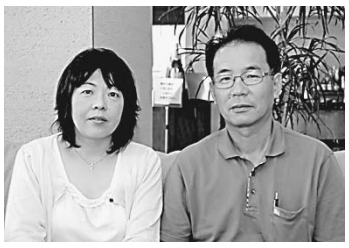
▲　個別相談をする庄菊博育友会主任

▲　１年次生のご父母とグループ面談する矢野建一文学部長

山梨支部

山口　和美さん

3回目の参加です。息子が1年次生のときはコース制、ゼミのことなどをお聞きしました。今年4年次ですが、まじめに勉強していますので、卒業は安心しています。就職は内定をいただいておりますが、公務員志望も残っていて、まだ最終決定を出していないようです。こちらでは大学の様子が分かりにくいこともあり、こういう機会に先生方から直接、お話を伺うことで、大学の環境が良く分かります。専修大学は本当に情報提供に熱心な大学だと思いました。（法4・男子）



大島　孝　友美さん

息子は法学部ですのまり話したがらないので、1年次のときは、よみうりランド駅近くにアパートを借り、2年次に都内江戸川区に引っ越しました。昨年はキャンパス見学会に参加し、教育環境を確認しました。今日は先生方のお話を伺い、親の役割や子供への接し方が私たちの若いころと違うということや、親の価値観を子供に押し付けるのは良くないとのご指摘がとても参考になりました。男の子はあで、大学の教育方針やゼミのことなどを直接お伺いし、大学の実情と教育内容が良く分かりました。（法2・男子）

▲　あいさつする荒木敏夫副学長

宮城支部

塩崎　貴章さん

子供を送り出したままではなく、間接的にでも大学と触れ合う貴重な機会だと思い、昨年から参加しています。

懇談会では、悪徳商法など生活面で注意すべきことと、就職活動スケジュールの説明が分かりやすく、参考になりました。特に就職活動に関しては、知識を得ておく必要があると考えていましたので、サポート体制や親の心構えを聞くことができ、満足しています。また、個別面談で先生方とお話をしたことで、大学への信頼が強まりました。（商2・男子）

樋口　隆彦さん

サークル活動やアルバイトなど、生活の様子が知りたくて、出席しました。本来は神奈川支部なのですが、都合で仙台におりましたので、参加させていただきました。懇談会では、学生相談室などの学生をフォローする制度が充実していることを知り、安心しました。ここで得た情報を子供にも教えたいと思います。また、ほかの父母の方と情報や意見を交換することができ、親同士の悩みを共有し、解消することができました。先生方の熱意も感じ、心強く思います。（経営1・男子）

▲　学生支援制度を説明する学生相談室長の中野育男商学部教授

加藤　明子さん

「何かためになることが聞ければ」と思い、当日飛び入りで出席させていただきました。グループ面談では、皆さんの意見をお聞きし、不安や疑問は自分だけではないと分かり、安心しました。今回の一番の目的が大学の様子を知ることでしたので、育友会制作のビデオは分かりやすく、良かったです。また、先生方も気さくで、親身になって相談に乗っていただき、参加して良かったと思います。これを機に、親も専大での4年間を楽しめるようになると感じました。（法1・男子）

公開講座情報

※各講座の詳細は専修大学ホームページの「公開講座情報」をご覧ください。すべて聴講無料です。

第42回文学部公開講座

テーマ　「こころとおもひ」
日　時＝10/18(土)　10:00～
会　場＝生田キャンパス10103号教室
演題・講師＝「漱石の小説『こゝろ』」小野隆教授／「伝統産業に生きる技と職人の心の伝承」樋口博美准教授／「農民兵士と学徒兵の心中を沙グる」新井勝紘教授
※申し込みは９/16～10/13（必着）。
申・問　教務課文学部公開講座係
☎044－911－1254
bkyomu@acc.senshu-u.ac.jp

大学院公開講座

PART１　テーマ　「現代米国の課題」
日　時＝10/３～24（毎週金曜日）
PART２　テーマ　「現代米国の展望」
日　時＝11/14～12/５（毎週金曜日）
いずれも18:30～
※会場は神田キャンパス731号教室

大学院経済学研究科政策科学専修
政策科学シンポジウム

総合テーマ　「岐路に立つ中国：日本はどう向き合うか」
日　時＝10/30(木)　13:30～
会　場＝神田キャンパス731号教室
基調講演＝五百旗頭真・防衛大学校長
申・問　大学院事務課
☎03－3265－6568
graduate@acc.senshu-u.ac.jp

【文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業　オープン・リサーチ・センター整備事業】

言語・文化研究センター主催

●国際公開講座

テーマ　「チョーサーと西洋古典」
日　時＝10/10(金)　16:00～
11(土)　13:00～
12(日)　10:30～
会　場＝神田キャンパス
（10日は203号教室、11・12日は731号教室）
講　師＝松下知紀（本学教授）、高橋宏幸（京都大学教授）、Ad Putter（U Bristol 教授）、David Wallace（U Pennsylvania 教授）、平川祐弘（東京大学名誉教授）

●国際公開講座・シンポジウム

テーマ　「言語科学の可能性」
日　時＝11/８（土）　10:30～
会　場＝神田キャンパス302号教室
講　座＝「脳を活性化させる音声学」
【講師】Michael Ashby 氏（U College London）
シンポジウム＝【司会】大津由紀雄（慶応義塾大学教授）【パネラー】今西典子（東京大学教授）、酒井邦嘉（東京大学准教授）、池内正幸（津田塾大学教授）
申・問　社会知性研究開発センター
☎044－911－1347
socio@acc.senshu-u.ac.jp